

江東区 青少年委員だより

No.57号

江東区青少年委員会
広報調査部
江東区青少年センター
江東区亀戸7-41-16
TEL.3681-7334
FAX.3681-8732

心の東京革命推進モデルに選定!!

「夢の島中学生体験プログラム」の事例発表会

江東区青少年委員会 少年団体育成部
部長 玉木 恭介

平成23年3月7日(月)13時30分から「平成22年度心の東京革命推進モデル事例発表」が都民ホールに於いて行われました。「夢の島中学生体験プログラム」が4件の内の1件としてノミネートされ、大変名誉な事でした。

4件とも江東区、大田区、調布市、狛江市の地域に根差し頑張っているなと思いましたが、江東区以外は小学生が対象で、挨拶運動、ナイトウォーク、小学校へのお泊まり会などでした。我が江東区は一番地域に密着している中学生が対象であったことがとても良かったと自負しています。

東日本大震災による未曾有の大災害が発生し、日本の経済も社会も大混乱している中、ささやかではあります、今後続けていく価値のある事業だと確信しました。都民ホールは400名の入場者で一杯でした。

23年度も計画を実施いたします。皆様のご理解とご協力をいただき、次に繋がる事業に育てて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



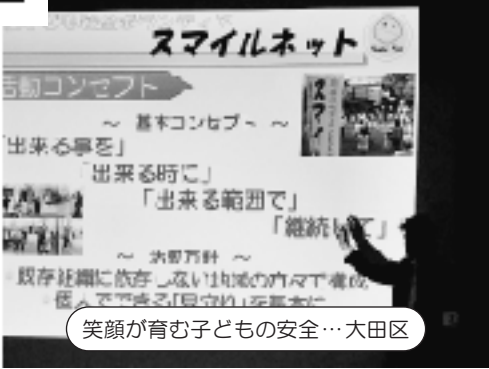
夢の島中学生体験プログラム…江東区



朝日に向かってチャレンジ20km…調布市



地域ふれあい広場…狛江市



笑顔が育む子どもの安全…大田区

震災時に役立つ仮想体験も — 「夢の島中学生体験プログラム」



東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

江東区青少年委員一同

日本赤十字社をととして、義援金の送金をいたしました。被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

「ブレスト」 いざというとき、あなたは 中学校生徒会長交流会 何ができますか？

平成23年2月19日(土)、第三砂町中学校体育館において区内22校の生徒会代表者48名による中学校生徒会長交流会が行われました。

第1部はグループに分かれ、「各校の情報交流(生徒会のPRと活動上の課題)」について意見交換などを行い各グループごとに発表。引き続き第2部では、まず、日赤東京支社より「災害時の支援活動」について阪神大震災時の活動DVDを鑑賞し、小冊子を使いながら説明を受けました。

続いて、「ブレスト」では「いざというとき、あなたは何かができますか？」をテーマに、

- ・災害時に何ができるのか
- ・(夢の島中学生体験プログラムが)どのような研修会なら参加したくなるか

について、第1部同様4グループに分かれて、アイデアを出し合いました。

平成22年度
江東区立中学校第5回生徒会長交流会

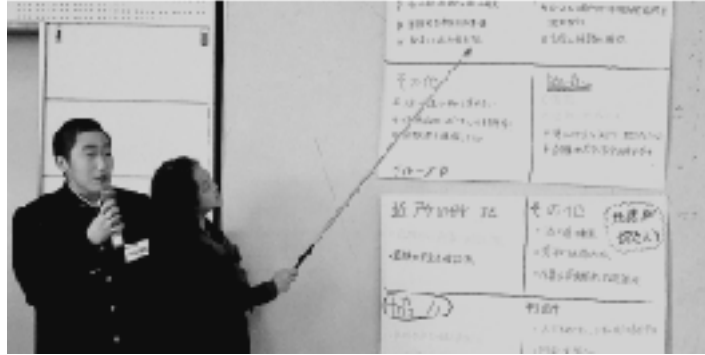
Aグループ…あっ!!地震。あなたならどうする? わたしなら、こうする。



Bグループ…元気があれば、何でもできる!



Cグループ…これってアリですか!? ~これが現実災害時~ ~夢の研修会~



Dグループ…地震が起きたらおきる前

—「ブレスト」ってなーに?—

ブレスト…ブレインストーミングの略。米国で開発された集団的思考の技術。自由な雰囲気、他を批判せずにアイデアを出し合い、最終的に一定の課題によりよい解決を得ようとする方法。

最初はなかなかアイデアが出ませんでしたが、青少年委員が少し手助けをすることで、次々と具体的な意見が出始め、テーブルの上にはたくさんのメモが張り出されました。

それらのアイデアをそれぞれがまとめあげて、グループごとに発表しました。

中学生のみならず、参加した引率の先生はじめ、青少年委員も多くのことを改めて考えさせられるテーマでした。

◇就任のごあいさつ◇

「江東区青少年委員の皆様へ」

青少年課長
猪田 正行

進藤会長をはじめ、青少年委員の皆様には、日頃より、青少年の健全育成活動に精力的にご尽力いただいております、心よりお礼申し上げます。

今般の東日本大震災、原発問題では、皆様にも少なからぬ影響が生じているものと思われま。現在、日本は大きな困難に直面しております。そのような中にあっても、皆様が献身的な活動をされており、感謝の念が絶えません。

皆様は、学校評議員、各種学校行事への参加、ウィークエンドスクール・合宿通学等への協力、青少年対策地区委員としての活動、他団体との連絡・提携など、さまざまな活動を粘り強くされておりま。

今後とも青少年委員の皆様が、学校・家庭・地域との架け橋となり、青少年の健全育成に努め、地域のコーディネーターとしての役割を担っていただけますようお願い申し上げます。

平成23年度 城東ブロック青少年委員 連絡協議会 総会・第1回代表者会議

平成23年度東京都城東ブロック青少年委員連絡協議会総会・第1回代表者会議が、参加総数45名(墨田区8名、葛飾区8名、江戸川区8名、江東区21名)のもと、5月28日(土)区役所第71・72会議室において行われました。

総会では22年度の事業報告と決算報告、23年度の事業計画と会計予算、新役員11名が承認され連絡協議会会長となった進藤会長のもと、23年度がスタートしました。つづいての代表者会議では、鈴木委員による23年度研修大会開催要項が発表されました。各区それぞれも23年度の活動計画等が発表され、情報交換が行われました。

会議終了後ホテルルートイン東京に場所を移して和やかに懇親会が開かれました。それぞれの区の自慢話(?)あり、パフォーマンスありと楽しく有意義な時間を過ごしました。



青少年センター職員紹介 (青少年委員担当)



(写真右から)

山内 弘一

青少年センター勤務5年目、青少年委員担当も5年目となります。今年度は城東ブロック当番区でなにかと忙しい年になりそうです。これからもよろしくお願いいたします。

長島 育子

今年度江東区役所へ入庁し、初めての職場で青少年委員を担当させていただくことになりました。わからないことばかりですが、毎回皆様にお会いする度に少しずつ成長できるように、学ぶ姿勢を大事にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

高畑 要

青少年委員担当として4年目を迎えました。青少年委員の皆様の活動に少しでもお役に立つことができるように今年度も頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



さて、今年度幹事区として江東区が掲げた城東ブロック研修大会のテーマは「歴史を通してこどもたちの未来を考える」です。施設見学やリバーツアーでの区内見学、講師を招いての講演会『お江戸に学ぶ子育て術～地域における人の関わり、結びつき』などを企画しています。9月24日(土)の研修大会に向けて、江東区青少年委員全員が力を合わせて準備を進めています。

区長と懇談会『活発な意見交換』



平成23年2月10日(木)、山崎孝明江東区長をお招きし、青少年委員と意見交換会を行いました。

昨年度より区長直轄となり昨年に引き続き行われた会では、各部長・地区長からそれぞれ力を入れてきた活動内容の説明をしました。



小学生・中学生ほか、幅広くこどもたちに関わり、今後も自由な発想で活動し、青少年の健全育成に携わってほしいと山崎区長より話をいただき、行政と青少年委員会の連携・関わり方など活発な意見交換ができました。

地区会 探検!!

第3回 深川北部地区 情熱と思いやりの精神の 深川北部

深川北部は、小名木川を挟んで狭いエリアに7校がひしめいています。学校も何かにつけて、対抗戦を行ったり、学校レベルでは結構こども同士の競争でフットサル大会や水泳記録会などお互いに切磋琢磨しています。

青少年委員も個性豊かな、お互い率直な意見で、地区対委員長、シャッフルボード、ナイトウォーク、ママさんバレー、ジャズバンド、和太鼓などでそれぞれで活躍しています。

定例会後、地区会を開いています。

各委員は各地区対(小松川・白河地区)と別れており、江さ連も北部・南部連合と活動体制に違いがあるので、様々な予定・行事・活動に対し、活発な意見交換し、熱い議論をぶつけ合っています。

これからもますます、それぞれが「思いやりの精神」を持って、この一年も活動していきたいと思っています。



編集後記

今回の東日本大震災では約180名の地元消防団の方がお亡くなりになりました。自分も城東消防団員として活動しておりますが「いざというとき」自分はどこまで地域の方々のお役にたてるのか?考えさせられました。(K・K)

なにもわからずに引き受けた青少年委員ですが、2年目の今年は、もう少し自主的な活動ができればと思っています。(A・O)